



Risk Analysis
Research Center

リスク解析戦略研究センター ニュースレター

News Letter

2022
September

2022年9月



研究所からの風景・多摩モノレール

CONTENS

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
 - 時空間データ解析プロジェクト
- 04 3. センター事務局からのお知らせ

Risk Analysis Research Center

1. 今月のトピックス

9月1-2日 NPO 法人日本 TRIZ 協会による第18回 TRIZ シンポジウムがオンライン (Zoom) で開催されます。リスク解析戦略研究センターは、このシンポジウムを協賛しています。

http://triz-japan.org/symposium_top-j.html



2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 今年度は12月を目途に第9回金融シンポジウムを開催予定です。開催期間は2日間で、例年の通り金融庁、日本銀行等の公的機関及び金融機関の方々の講演を計画しています。先日企画委員会を立上げ準備に入っています。

(所内責任者：山下 智志 教授)

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 8月3日 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの第20回運営委員会を開催し、今後開催予定のシンポジウム、の内容と構成、ワークショップの内容について議論しました。

- 9月の統計関連学会連合大会で2つの企画セッションを開催します。

9月7日 「アジアの公的マイクロ統計の活用」

9月8日 「公的統計マイクロデータ利活用の現状と課題」

(所内責任者：南 和宏 教授)

- エストレーラ 2022年7月号((公財)統計情報研究開発センター刊)にて、特集「アジアの公的統計マイクロデータの利用」が掲載されました。「国際マイクロ統計データベース」の概要と利用について」

岡本 基 (情報・システム研究機構)

「結婚(男女の同居)による消費支出額への影響 - タイの「社会経済調査」を用いた計測 -」

菅 幹雄 (法政大学)

「ベトナム農村研究におけるマイクロデータ適用の意義」

高橋 暎 (東海大学)

「カンボジアにおける教育の地域格差の空間統計分析」

久保田 貴文 (多摩大学)

<https://www.sinfonica.or.jp/kanko/estrela/est202207.html>

■ リスク基盤数理プロジェクト

- 8月16-26日 共同研究集会「極値理論の工学への応用」をオンラインで開催しました。

<https://sites.google.com/view/takaakishimura#h.4ssy88uy2klm>

(所内責任者：志村 隆彰 准教授)

- 9月16-17日 共同研究集会「接合関数(コピュラ)理論の新展開」を開催します。

<https://sites.google.com/view/copulaism2022>

(オーガナイザー：加藤 昇吾 准教授・吉羽 要直 客員教授)

- 10月11日 ドイツウルム大学と東北大学との国際ワークショップに先立ち、ウルム大学の保険数

学が専門の An Chen 教授の講演会を所内（ハイブリット）で行う予定です。

（所内責任者：栗木 哲 教授）

- 10月12-14日 MOUを締結しているドイツのウルム大学と東北大学と統計数理研究所による国際ワークショップ「Risk and Statistics : 3rd TohokuU-UUIm-ISM Joint Workshop」を開催予定です。今回は東北大学 知の創出センター「知の館」において対面開催を予定していますが、コロナ禍の状況によってはオンライン開催に変更する可能性もあります。

https://www2.econ.tohoku.ac.jp/~DSSR/event_2022/3rdUIT/index.html

（所内責任者：栗木 哲 教授）

- 10月後半 -11月頃 共同研究集会「無限分解可能過程に関連する諸問題」を開催します。

（所内責任者：志村 隆彰 准教授）

- 11月中旬頃 「確率・統計・行列ワークショップ 2022」を開催予定です。

（所内責任者：栗木 哲 教授）

■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 7月19-21日 統計数理研究所統計思考院人材育成事業ワークショップ「数学を用いる生物学：理念・概念と実践方法論」を統数研セミナー室 1.2で開催しました。

（所内責任者：島谷健一郎 准教授）

- 年度後半に例年通り、ISMシンポジウムの開催を予定しています。実地開催が望ましいですが、コロナ禍の状況によります。実地開催の可否は早めに判断したいと考えています。

（所内責任者：金藤 浩司 教授）

■ 地震予測解析プロジェクト

- 8月1日 -19日の平日 共同研究集会「諸科学における統計数理」がオンラインにて開催されました。

<https://sites.google.com/view/shokagaku/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/22%E5%B9%B4%E5%B%A6%E5%A4%8F>

（所内責任者：矢野 恵佑 准教授・島谷健一郎 准教授）

- 9月5-8日 統計関連学会連合大会にて企画セッション「地震ビッグデータ解析の最前線」が成蹊大学とオンラインのハイブリッドで開催されます。庄建倉准教授が招待講演をします。

（所内責任者：矢野 恵佑 准教授）

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 9月1-2日「日台韓三カ国国際会議 SFEM2022」を三重大学 Onsite - Zoom Online のハイブリット形式で開催します。

<https://www.formath.jp/symposium/2022SFEM/index.html>

（所内責任者：吉本 敦 教授）

- 10月25-26 マカッサルイスラム大学（インドネシア スラウェシ）の協力を得て、インドネシア農業経済学会（スラウェシ支部）で統計数理ワークショップを企画・開催する予定です。

（所内責任者：吉本敦教授）

- 昨年度同様今年度も海外のワークショップと3月の統数研インターンシップ及び FORMATH 国際シンポジウムを計画しています。

（所内責任者：吉本 敦 教授）

■ 時空間データ解析プロジェクト

- 7月28日 リスク解析戦略研究センターシンポジウムにて、チュートリアルセッション～地理情報と時空間モデリング～を実施しました。時空間データを対象とした統計手法の紹介や、その疫学、交通、生物等への応用に関する研究報告が有りました。

https://www.ism.ac.jp/risk/risk_sympo2022.html

（チュートリアルセッション座長：村上 大輔 助教）

- 10月21日 公開講座「Rによる時空間モデリング入門」を開催予定です。現在準備を始めています。

<https://www.ism.ac.jp/lectures/kouza.html>

(所内責任者：村上 大輔 助教)

- カリフォルニア大学との共同ワークショップの開催に向けた打合せを開始しました。

(所内責任者：村上 大輔 助教)

3. センター事務局からのお知らせ

- 8月のリスク解析戦略研究センター運営会議は休会でした。

- ・ 次回の会議は 2022 年 9 月 2 日 (金) 11:00 ~ の予定です。

2022/9/1